



# れ ん ご う 福 井 丹南地協

No.82号 2020年 5月 7日発行

発行 連合福井丹南地域協議会

発行人 山崎 紀和

編集人 玉川 忠春

〒915-0814越前市中央2丁目5-36

TEL:0778-22-4505

FAX:0778-22-4624

E-mail:re-tannan@galaxy.ocn.ne.jp

## 開催を断念! 第91回丹南地区メーデー

メーデー100年を記念する第91回メーデーは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、県中央メーデーおよび各地区メーデーフェスティバルは参加者・スタッフ等の安全と健康を最優先し、開催形態を変更。今メーデーは紙面やSNSを活用し、組合員のみなさんだけでなく仲間の皆さんとメーデーの意義について共有を図った。



第90回のメーデーウォーク(デモ行進)

### 実行委員長メッセージ

丹南地協 議長 山崎 紀和



今年のメーデーは1920年5月2日に第1回メーデーが開催されてから100年という記念すべきメーデーとなりました。この間、

戦争による中断や、戦後の高度成長からバブル崩壊やリーマンショックといった経済の急激な変化の中でのメーデー、あるいは大震災や度重なる豪雨などの自然災害からの復興をめざしたメーデーも行われ、幾重にもわたる危機を労働者の団結と連帯で乗り越え、今回の第91回メーデーを迎えました。

今回のメーデーは、世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大する中、経済的にも生産活動の減少や外出自粛による小売りやサービス業、運輸交通の低迷など、未曾有の社会情勢の中でのメーデーとなりました。

私たち労働組合は労働者の雇用を守り、生活の安定向上をめざして様々な運動を展開してきましたが、今その運動の動きを一旦止め労働者の命を守る、地域社

会を守る事を第一義に考え行動する時期と判断し、今回のメーデーの開催も3密（密閉・密集・密接）を避けるべく今までの集合型のメーデーから広報紙やSNSを使ったメーデーへと変更しました。こうした中、丹南地協では“今できる取り組み”として日々寄せられる労働相談や緊急アンケートによる加盟組合からの意見集約を基に自治体への要請行動を実施してきました。

丹南地区メーデーは、丹南地域で働く仲間が集い、働く者の権利を求め、団結と連帯を確認しあう場です。丹南地協は、今後も連合福井・各地域協議会と連帯し、改めてメーデーの原点・意義を振り返ると共に、メーデーを通じて、すべての仲間と連帯することの大切さを見つめなおし、「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」の継承・深化に向けて全力を挙げて取り組んで参ります。

結びに、今なお、命と健康を守り、社会を維持し、経済を動かすために懸命に働き続けている方々の頑張りに、心から感謝を申し上げメッセージと致します。

2020年4月24日 第91回丹南地区メーデー

### メーデーの意義（メーデーとは？ 100年目を迎えるメーデー）

1886年の5月1日、低賃金と長時間労働に苦しめられていた米国の労働者が団結してストライキを行い、翌年以降も5月1日に労働時間の短縮に向けてストライキが実施されました。この動きが世界の労働組合に広まり、1890年5月1日に多くの国で第1回国際メーデーが開催され、

これが今に続く「労働者の祭典」としてのメーデーの起源となっています。

日本では1920年5月2日に第1回メーデーが東京・上野公園で開催されました。治安の悪化や戦時下において中止された時期もありますが、戦後、メーデーは労働組合の復活と

もに再び開催され、労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、世界の恒久平和に深く貢献し、その役割を果たしてきました。そして今年、メーデーは100年を迎えることとなりました。



\*連合や連合福井は、今年のメーデーを結集型から動画配信等を活用して横山会長のメッセージと連合本部が制作した動画を配信しています。

連合福井HP

# メーデー開催中止に伴う緊急アンケートと自治体要請

## —新型コロナウイルス感染症で影響を受ける労働者への支援要請—

労働者の祭典「第91回丹南地区メーデー」を新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止せざるを得ない状況を鑑み、業績悪化や感染防止のため休業を余儀なくされている職場、あるいは感染者の対応に追われる保健所や病院等の職場など、各職場の状況は非常事態の中にあつて、感染への不安と相まって様々な課題や悩みも日を追うごとに増していた。

この非常事態において、それぞれの職場の現状や課題、あるいは働く仲間が抱える悩み・不安などを緊急アンケートにより把握し、自治体要請を行った。

緊急アンケートによると、業種によって大きく異なるものの福井県内で感染者が確認された頃から、感染防止対策が強化され、各職場でソーシャルディスタンスやテレワーク、行動履歴の管理などが始まり、4月初旬にはマスク、消毒液、医療資材などが急激に不足し、各職場において大きな課題となっていた。また、



鯖江市(牧野市長)への要請



越前町(内藤町長)への要請

医療・福祉・介護・保育の現場からは、感染への不安と職場の疲弊感の訴えが届いた。

緊急アンケートや労働相談を基に丹南5市町の新型コロナウイルス感染症対策および支援策を見ながら、各自治体に応じた要請内容を5項目にまとめ、4月27日～5月15日の期間に緊急自治体要請を実施した。

### 要請行動

鯖江市	4月28日(火) 10:00～
越前町	5月7日(木) 14:30～
越前市	5月12日(火) 11:30～
南越前町	5月13日(水) 11:00～
池田町	5月15日付で要請書送付

### 要請内容

1. 生活確保・事業継続のための緊急措置…個人への経済支援、中小・小規模事業者等への事業継続支援、雇用維持に向けた支援など
2. 緊急事態宣言時に事業の継続が求められる事業所で働く労働者への支援…公共交通機関や社会福祉施設、食料品・生活必需品販売事業所への感染防止対策や経済的支援
3. 医療・福祉・介護等のサービス提供体制の確保対策の強化…診療および事業継続のための衛生資材の確実な供給
4. 高齢者・生活困窮者などに対する相談支援の周知
5. 感染症拡大に伴うハラスメント等の防止

北陸労金・こくみん共済coop・県民せいきょう協賛

## 第5回・お父さんお母さんファミリー似顔絵コンテスト

第91回丹南地区メーデーは、新型コロナウイルスの感染拡大により開催が中止となったが、特別企画として3月23日～4月20日の募集期間にて実施された「お父さんお母さんファミリー似顔絵コンテスト」については、1歳～小学校6年生の61名のお子さん・お孫さんより応募があった。4月22日には審査会が開催され、厳正なる審査の結果、金賞の丹南地協議長賞をはじめ、銀賞の北陸労金丹南支店長賞・こくみん共済coop福井推進本部長・県民せいきょう理事長賞など、全12作品の入選作品が決定した。

また、本来であればメーデー会場にて全作品の展示と入選者の表彰式が行われる予定でしたが、今回は子どもたちの力作を多くの皆さんに観ていただこうと、

越前市内のショッピングセンターである「エスカモール武生楽市」にて、4月26日(日)～5月9日(土)の期間、作品展を開催した。

### ※審査結果について※

金賞 (丹南地協議長賞)

植村 梗 (5歳) <植村 瞬/倉茂電工>

銀賞 (北陸労金丹南支店長賞)

山根 拓己 (7歳) <山根 貴一/AW-I>

銀賞 (こくみん共済coop福井推進本部長賞)

竹内 ひなの (8歳) <竹内 和徹/AW-I>

銀賞 (県民せいきょう理事長賞)

西村 聖菜 (6歳) <西村 拓哉/倉茂電工>

銅賞 (メーデー賞)

上木 絢仁 (7歳) <上木 清美/北陸電力>

永宮 大耀 (4歳) <永宮 あゆみ/福井村田>

中村 灯里 (3歳) <中村 景子/マルサンアイ>

※応募作品および入選作品は、丹南地協ブログをご覧ください。

